

平成22年8月期 第2四半期決算短信

平成22年4月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイケイコーポレーション
コード番号 3377 URL <http://www.ikco.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合管理本部管掌
四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日(氏名) 加藤義博
(氏名) 山縣 俊
配当支払開始予定日TEL 03-6803-8855
平成22年5月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第2四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第2四半期	11,313	5.2	△157	—	△135	—	△109	—
21年8月期第2四半期	10,756	—	△120	—	△92	—	△113	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第2四半期	△738.09	—
21年8月期第2四半期	△742.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第2四半期	5,719	4,317	74.2	29,116.94
21年8月期	6,350	4,728	73.3	30,460.54

(参考) 自己資本 22年8月期第2四半期 4,246百万円 21年8月期 4,656百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	600.00	—	600.00	1,200.00
22年8月期	—	600.00	—	600.00	1,200.00
22年8月期 (予想)	—	—	—	600.00	1,200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,587	4.6	1,016	57.3	1,043	55.3	536	113.5	3,644.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第2四半期	152,856株	21年8月期	152,856株
② 期末自己株式数	22年8月期第2四半期	7,000株	21年8月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第2四半期	148,513株	21年8月期第2四半期	152,856株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。上記予想に関する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。なお、通期の連結業績予想につきまして変更はありませんが、第2四半期連結累計期間における連結業績予想の修正を平成22年3月31日付で公表しております。
2. 平成22年8月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の算定につきましては、平成21年12月8日をもって自己株式7,000株の取得が終了しておりますので、当該自己株式の取得を反映した期中平均株式数を算定の基礎としております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気持ち直しの兆しが見られたものの、厳しい雇用情勢が続く、個人消費は依然として低調に推移したことに加え、国内のデフレ経済の進展等により、企業をとりまく環境は引き続き厳しいものとなりました。

当社グループが属するオートバイ業界におきましては、国内におけるオートバイ保有台数が1,278万台（平成20年3月末現在、出所：社団法人日本自動車工業会）となり、全体として微減する傾向にあります。しかし、比較的市場価値の高い軽二輪・自動二輪といった大型オートバイの保有台数には増加傾向がみられます。一方で、当第2四半期連結累計期間においては、当社グループの主たる販売先（出品先）である中古オートバイオークション市場において、平成20年秋以降の急激な相場の下落後、不透明な相場の状況が続いておりましたが、平成22年1月以降、春の需要期に向けてオークション相場に上昇の兆しがみられました。

このような状況のもと、当社グループは、「バイク王」をコアブランドとする中古オートバイ買取販売において、従来からの積極的な広告展開による認知度・信用力向上に加え、効率的な広告出稿を実施したことにより、販売台数が増加いたしました。しかし、上記のオークション相場の下落にともない、平均売上単価（一台当たりの売上高）および平均粗利額（一台当たりの粗利額）は低下いたしました。このような状況に対し当社グループは、粗利額確保の施策として買取価格のコントロールを一層強化し、その効果が徐々に発現したことに加えて、オークション相場に上昇の兆しがみられたこと等により、平成22年1月以降、平均粗利額が改善いたしました。

その結果、売上高11,313,549千円（前年同期比5.2%増）となりましたが、営業損失157,619千円（前年同期は120,238千円の営業損失）、経常損失135,524千円（前年同期は92,579千円の経常損失）、四半期純損失109,615千円（前年同期は113,547千円の四半期純損失）の損失計上となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

<中古オートバイ買取販売事業>

中古オートバイ買取販売に関しては、上記のとおり、販売台数は増加し、平均売上単価が低迷する中、平均粗利額が改善いたしました。また、店舗展開につきましては、前連結会計年度において「バイク王100店舗計画」を達成したことにもない、既に一定の認知度の確保、商圈の細分化がなされていると判断しております。このため、当第2四半期連結累計期間におきましては、一店舗当たりの取扱台数を増加させることによる効率性の向上を優先した結果、新規の出店はありません。

オートバイ小売販売に関しては、新ブランド「バイク王ダイレクトSHOP」を中心に、積極的な販売活動、小売販売店のブランディング強化および将来的な多店舗展開を視野に入れた基礎構築を進めてまいりました。

以上の結果、直営店舗数は111店舗（買取販売店：100店舗、小売販売店：10店舗、パーツ販売店：1店舗）となり、セグメント間消去前の売上高は11,054,687千円（前年同期比4.4%増）、営業損失は164,324千円（前年同期は92,830千円の営業損失）となりました。

<オートバイ駐車場事業>

子会社「株式会社パーク王」にて展開するオートバイ駐車場事業において、事業地の確保・拡大戦略から収益性の向上を中心に置いた事業展開に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において271車室を新規に開設するとともに、113車室を閉鎖しており、車室数は1,726車室となりました。

以上の結果、セグメント間消去前の売上高は259,041千円（前年同期比58.0%増）、営業利益は4,553千円（前年同期は28,613千円の営業損失）となりました。

なお、前年同期比につきましては参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて576,010千円減少し、4,080,504千円となりました。これは主に、商品の増加55,182千円があったものの、現金及び預金の減少725,836千円があったためであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて55,097千円減少し、1,639,238千円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて201,250千円減少し、1,264,855千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加62,748千円があったものの、未払法人税等の減少261,690千円があったためであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18,516千円減少し、137,659千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて411,340千円減少し、4,317,228千円となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間における四半期純損失および配当による利益剰余金の減少201,329千円、ならびに自己株式の取得による減少211,053千円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、725,836千円減少し、2,611,619千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は264,469千円（前年同期は673,192千円の使用）となりました。これは主に、非資金費用である減価償却費148,600千円、賞与引当金繰入額62,748千円を計上したことにより資金が増加したものの、税金等調整前四半期純損失を148,320千円計上したこと、および前連結事業年度の法人税等の確定納付が268,322千円あったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は140,505千円（前年同期は203,197千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出33,427千円、無形固定資産の取得による支出69,163千円および関係会社に対する貸付33,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は320,861千円（前年同期は75,446千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払91,429千円および自己株式の取得による支出211,053千円があったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成21年10月14日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,611,619	3,337,456
売掛金	156,801	159,202
商品	827,747	772,564
貯蔵品	33,782	21,955
その他	451,228	365,759
貸倒引当金	△675	△424
流動資産合計	4,080,504	4,656,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	561,451	601,982
その他（純額）	259,560	293,364
有形固定資産合計	821,011	895,346
無形固定資産		
投資その他の資産	158,497	139,431
その他	665,257	675,126
貸倒引当金	△5,528	△15,569
投資その他の資産合計	659,728	659,557
固定資産合計	1,639,238	1,694,335
資産合計	5,719,743	6,350,850

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,240	83,314
短期借入金	238,000	238,000
未払金	468,872	528,048
未払法人税等	22,490	284,180
賞与引当金	62,748	—
その他	388,504	332,563
流動負債合計	1,264,855	1,466,106
固定負債	137,659	156,176
負債合計	1,402,514	1,622,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,650	585,650
資本剰余金	605,272	605,272
利益剰余金	3,264,901	3,466,230
自己株式	△211,053	—
株主資本合計	4,244,770	4,657,154
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	2,109	△1,077
評価・換算差額等合計	2,109	△1,077
新株予約権	70,347	72,492
純資産合計	4,317,228	4,728,568
負債純資産合計	5,719,743	6,350,850

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
売上高	10,756,442	11,313,549
売上原価	5,213,128	5,469,437
売上総利益	5,543,314	5,844,111
販売費及び一般管理費	5,663,552	6,001,730
営業損失(△)	△120,238	△157,619
営業外収益		
受取利息	2,263	1,161
助成金収入	11,264	28,613
クレジット手数料収入	11,892	8,899
その他	12,678	21,235
営業外収益合計	38,098	59,908
営業外費用		
支払利息	2,039	4,859
為替差損	1,738	40
貸倒引当金繰入額	5,000	—
持分法による投資損失	1,297	29,329
その他	364	3,583
営業外費用合計	10,440	37,813
経常損失(△)	△92,579	△135,524
特別利益		
固定資産売却益	197	225
新株予約権戻入益	857	2,144
貸倒引当金戻入額	—	7,840
特別利益合計	1,055	10,211
特別損失		
固定資産売却損	—	60
固定資産除却損	15,172	5,102
減損損失	5,274	17,844
特別損失合計	20,447	23,007
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,971	△148,320
法人税、住民税及び事業税	33,849	11,432
法人税等調整額	△32,273	△50,137
法人税等合計	1,575	△38,705
四半期純損失(△)	△113,547	△109,615

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,971	△148,320
減価償却費	155,793	148,600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,088	△9,789
賞与引当金の増減額(△は減少)	55,122	62,748
受取利息及び受取配当金	△2,263	△1,161
支払利息	2,039	4,859
固定資産売却損益(△は益)	△197	△164
固定資産除却損	15,172	5,102
減損損失	5,274	17,844
為替差損益(△は益)	1,738	40
持分法による投資損益(△は益)	1,297	29,329
売上債権の増減額(△は増加)	△63,482	2,401
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136,014	△67,009
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,467	926
その他	△125,666	△38,007
小計	△218,536	7,399
利息及び配当金の受取額	2,223	1,047
利息の支払額	△1,760	△4,594
法人税等の支払額	△455,118	△268,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	△673,192	△264,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101,639	△33,427
有形固定資産の売却による収入	340	250
無形固定資産の取得による支出	△35,030	△69,163
関係会社貸付けによる支出	△50,000	△33,000
その他	△16,867	△5,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203,197	△140,505
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	18,000	—
長期借入金の返済による支出	△24,000	—
自己株式の取得による支出	—	△211,053
配当金の支払額	△60,926	△91,429
その他	△8,519	△18,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,446	△320,861
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△951,835	△725,836
現金及び現金同等物の期首残高	3,609,602	3,337,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,657,766	2,611,619

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)

	中古オートバイ 買取販売事業 (千円)	オートバイ 駐車場事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,592,693	163,748	10,756,442	—	10,756,442
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	180	180	△180	—
計	10,592,693	163,928	10,756,622	△180	10,756,442
営業損失(△)	△92,830	△28,613	△121,443	1,205	△120,238

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、当社グループの事業内容を勘案して区分しております。

2. 各事業区分の主な内容

(1) 中古オートバイ買取販売事業：中古オートバイ買取販売、オートバイ小売販売、パーツ販売

(2) オートバイ駐車場事業：駐車場装置・駐車設備機器の開発・製造・販売、駐車場の管理等

当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

	中古オートバイ 買取販売事業 (千円)	オートバイ 駐車場事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,054,687	258,861	11,313,549	—	11,313,549
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	180	180	△180	—
計	11,054,687	259,041	11,313,729	△180	11,313,549
営業利益又は営業損失(△)	△164,324	4,553	△159,771	2,152	△157,619

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、当社グループの事業内容を勘案して区分しております。

2. 各事業区分の主な内容

(1) 中古オートバイ買取販売事業：中古オートバイ買取販売、オートバイ小売販売、パーツ販売

(2) オートバイ駐車場事業：駐車場装置・駐車設備機器の開発・製造・販売、駐車場の管理等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年9月1日至平成21年2月28日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年9月1日至平成22年2月28日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年9月28日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が211,053千円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は211,053千円となっております。